

花いっぱい運動 いろいろ



美羅尾ヶ丘自治会の皆さんが6月10日、美羅尾ヶ丘会館前の花壇の植栽を行いました。ペゴニアやサルビア、マリーゴールドなどを、配色を考えながら丁寧に植えていました。



鎧別温泉桜町自治会の皆さんが6月12日、鎧別温泉桜町会館前に新しく設置した花壇の植栽を行いました。老人クラブ・桜町悠々クラブの皆さんが中心になって行ったもので、サルビアやペチュニアなど280株を植えました。



摩周湖世界遺産登録実行委員会や弟子屈建設業協会などをつくる町づくり団体「ふれあいの町ボランティア協議会」の皆さんが6月21日、道道屈斜路摩周湖畔線でプランター設置を行いました。摩周湖を訪れる観光客を花で迎えようとしているもので、今年で5年目。750株のペゴニアをプランターに植え込んだ後、摩周湖への上り口付近の沿道に設置しました。



摩周フラワーマスター協会(渡辺昇会長)の皆さんが6月9日、役場庁舎前花壇の植栽を行いました。皆さんに花を楽しんでほしいと毎年行っているもので、今年で17回目。サルビアやマリーゴールド、ペチュニアなど約500株を、2つの花壇に手際よく植えました。今回はさらに工夫を凝らし、アーチ型のデザインに花の苗を配置。訪れる皆さんの目を引いています。



湯の島自治会と役場管理職会の皆さんが6月11日、連携して旧国立病院跡地に2,000株の花の苗を植えました。公園としての整備が進められている同所をきれいにしたいと行ったもので、ペゴニアやマリーゴールドなどを手分けして植えていました。



弟子屈町花いっぱい運動推進会(会長・筒井貴文商工会青年部長)などの皆さんが6月18日、国道243号沿い鈴蘭地区交差点付近で、花壇の整備と植栽作業を行う「弟子屈町花いっぱいフラワーロード」事業を行いました。商工会青年部・女性部などが中心となって組織し、2005年から同事業を行っています。この日は約70人が参加。10月までの毎月1回、除草や清掃なども行います。



開成建設工業株(小澤由明代表取締役)の皆さんが4月27日、昭栄小学校のグラウンドの整備を行いました。子どもたちの喜ぶ顔が見たいと、毎年行っているものです。5月12日には町営球場の整地も行っています。また5月27日には、昨年に引き続き株サンワ機械リース弟子屈出張所(坂本幸生所長)から無償で借りた重機を使用し、弟子屈小学校のグラウンド整備も行っています。



株今道東建設工業(今誠代表取締役)の皆さんが5月28日、町道弟子屈原野西1号線と9〇〇草原内の観光道路の清掃を実施。60人が参加し、ごみを拾い集めました。社の持ち味である機動力を生かして、今後も社会奉仕活動が続けていきたいとのことです。



辻谷建設株(辻谷智之代表取締役)の皆さんが6月17日、9〇〇草原展望台駐車場の修理と植樹帯の整備を行いました。9〇〇草原での社会貢献活動は今年で5年目です。雪害などにより傾いていたフェンスを修理したほか、植樹帯の松を剪定(せんてい)しました。

社会貢献 いろいろ



東星渡部建設株(山村五十三代表取締役)の皆さんが5月28日、川湯中学校と和琴小学校、美留和小学校、奥春別小学校のグラウンド整備を行いました。除草や転圧など、とても丁寧な作業を行っていました。



明盛建設株(藤田文明代表取締役)の皆さんが6月10日、鎧別川河川敷と道路沿いなどの清掃を行いました。社内安全大会の実施に合わせて、毎年行っているもので、10年以上になります。約30人が2つのルートに分かれて、火ばさみと袋を手にごみを拾い集めました。